

『ま と め』

購入者の93%は1戸建住宅の方で、容器の種類は、コンポストが65%、EMぼかし容器が24%、両方使用が7%となっています。

使用年数は5年以上の方が45%で、そのうち80%の方が継続して使用されており、1年以上5年未満の方は44%で、そのうち60%の方が継続して使用されています。

また、堆肥は菜園やプランターに利用され、72%の方が、1日あたり300g以上の生ごみを処理されています。

【参 考】

回答者98人で年間約13,724kgのごみの減量が図られています。

{ (500g × 28人) + (400g × 26人) + (300g × 44人) } × 365日 ÷ 1,000 = 年 13,724kg。

13,724kg ÷ 98人 = 約 140kg 約 75,000世帯 × 約 140kg = 約 1,050t

仮に、本市の世帯数約75,000世帯数の、10分の1で、これを実現しますと約1,050tもの減量ができます。

使用に当たっての困ったことや不便な点

コンポスト使用では夏場の小バエ等、虫の発生に関する意見が33件と多く、臭いについてはごくわずかに、「夏場に臭いが近所に気がねする」など2件の意見がありました。

また、「堆肥化した土を取り出しにくい」「冬場は減容しない」「満杯時に取り出しにくい」など、容器の形状などによる使用上の不便さの意見がありました。

EMぼかし容器では、臭いに関するものが、「臭いがきつく自宅では使用できず、畑に持っていた」など7件、虫の発生については、4件で、「玉ねぎは、虫がわくのでぼかし容器には入れない」という意見もありました。また、「ふたが割れる」「ぼかし菌が高い」等の意見もありました。

使用にあたっての便利な点

ごみの減量が圧倒的で、コンポスト使用では、「生ごみをごみ収集車に出さないで、カラスに破られることがない」「流し台の残飯類が溜まらず、臭気・コバエの発生がなくなった」「生ごみを処理する上で、清潔に保たれる」など清潔感が高まったご意見も複数寄せられました。

また、「熟成した土は畑に入れるとフカフカの土が出来た」などの意見がありました。

EMぼかし容器では「手軽に扱われる」「ごみが軽く臭わない」や「畑で化学肥料を使用しないので安心野菜です」「安全な堆肥で野菜に使える」など安全性についてのご意見や「肥料が少なくてすむ」「肥料はほとんど買わない。」と経済的な利点のご意見もありました。

アンケートの結果では、全体的には上手に使用できれば、「生ごみの減量」「衛生面」「経済性」など利点も多く、また、マンション等でもEMぼかし容器を使用すれば生ごみの減量に役立つことが判ります。

上手に使うには、講習会(彩生館主催・EMぼかし容器)の参加により、適正な使用方法の普及が重要です。

また、一般家庭からの排出される生ごみを堆肥化容器(コンポスト容器及びEMぼかし容器)購入の補助を行い、生ごみ減量を推進してまいります。

以上、アンケートにご協力ありがとうございました。